P

CASIO

5168 ✻ JA

取扱説明書　　保証書付

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオウオッチ保証書　持込修理

This warranty is valid only in Japan.
（この保証書は日本国内のみにて有効です）

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。

★ご販売店様へ
この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
贈答品、記念品の場合も含めて必ずご記入の上お客様にお渡しください。

品　名	ウオッチ
機種名	
保証対象	本体
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
	お買い上げ日　　年　　月　　日
お客様	お名前　　様
	ご住所　〒
	電話
販売店	住所・店名
	電話

カシオ計算機株式会社
〒 151-8543　東京都渋谷区本町 1-6-2　☎ 03-5334-4111（代表）

アフターサービス窓口について

製品の機能・操作・購入先に関するお問い合わせ

お客様相談窓口
ナビダイヤル 0570-088955
全国一律料金でご利用いただけます。
http://casio.jp/support/contact/before/
PHS・IP電話からは 03-5334-4869
受付時間　月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）

修理サービス窓口

修理に関するお問い合わせ窓口
ナビダイヤル 0570-004161
全国一律料金でご利用いただけます。
http://casio.jp/support/contact/before/
PHS・IP電話からは 042-560-4161
受付時間　月曜日～土曜日 AM9:00～PM6:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）

送付修理サービス受付窓口
最新のご送付先につきましては下記アドレスよりご参照ください。
http://casio.jp/support/repair/soufu/
なお、「修理に関するお問い合わせ窓口」でもご案内しております。

持込修理サービス受付窓口
最新のお持込先につきましては下記アドレスよりご参照ください。
http://casio.jp/support/repair/mochikomi/
なお、「修理に関するお問い合わせ窓口」でもご案内しております。

ホームページによる情報の提供について

製品の Q&A、製品・修理のお役立ち情報、各種サポート情報、機能・操作や修理のお問い合わせに関する情報をホームページで提供しております。
- **カシオホームページ http://casio.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

カシオ製品の修理サービスに関する業務はカシオテクノ株式会社が担当いたします。
- 電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をお買い上げの販売店または「持込修理サービス受付窓口」までご持参いただくか、「送付修理サービス受付窓口」までご送付ください。日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。
3. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   イ. お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
   ロ. 誤用、乱用および取り扱い不注意、落下などによる故障・損傷
   ハ. 不当な修理または改造による故障・損傷
   ニ. 火災、地震、水害、その他の天災地変による故障・損傷
   ホ. 消耗品（電池やバンドなど）および付属品のお取り替えの場合
   ヘ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
   ト. 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。

★この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは
まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

●保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと
- 故障の内容によりまして、弊社の都合により「一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理にかえ同一製品あるいは同等製品と交換させていただくこと」があります。
  また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 循環型社会形成促進の取組みの一環として、再生した部品や製品を、修理や製品交換の際に使用させていただく場合があります。修理の際に交換した部品や製品は、修理受付時に特段のお申し出がない限り弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理のとき、故障原因の解析のため、データや画像を確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後 7 年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために不可欠な部品のことです。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは
お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

安全上のご注意

絵表示について
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例
△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

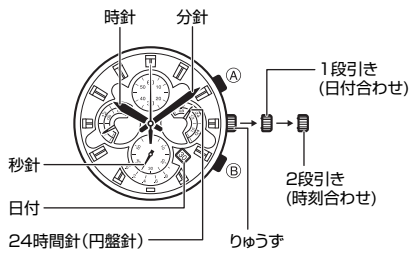
思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

時刻・カレンダーの合わせ方



■ 時刻の合わせ方

1. りゅうずを 2 段引きます。
- この時、秒針が 12 時の位置まで移動して止まります。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせます。

3. りゅうずを押し込みます。

- 時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より 4 ～ 5 分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。
- 時報は「時報サービス 117 番」が便利です。

■ 日付の合わせ方

1. りゅうずを 1 段引きます。

2. りゅうずを回して、日付を合わせます。

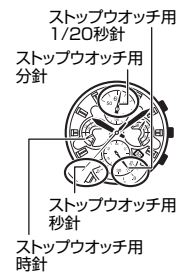
3. りゅうずを押し込みます。

- 日付は 31 日制になっていますので、2、4、6、9、11 月の月末には必ず修正してください。
- 午後 9 時～午前 1 時の間は、日付合わせをしないでください（この間に日付合わせをすると翌日になっても変わらないことがあります）。

ストップウオッチの使い方

本機は、1/20 秒単位で 11 時間 59 分 59 秒 95（12 時間計）まで計測でき、以後 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた



Ⓐ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 最初に Ⓑ ボタンを押すと、ストップウオッチ用 1/20 秒針が "0" の位置に移動します。それから Ⓐ ボタンを押しても、スタートすることができます。
- りゅうずを引いた状態では計測しないでください。

●「ストップウオッチ用 1/20 秒針」について
- 計測スタート後、振り子のように 60 秒間動きます（1/20 秒の計測値を指し示します）。
- 計測スタート後 60 秒経過すると、"0" の位置で止まります。
- "0" の位置で止まっている状態（計測スタート後 60 秒経過）で計測をストップ（Ⓐ ボタン）すると、1/20 秒の計測値を指し示します。

計測の流れ

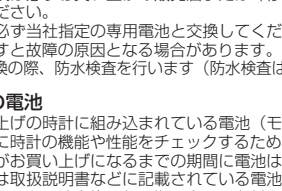
Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測‥‥ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐ ボタン）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

- 計測をリセットすると、ストップウオッチ用 1/20 秒針、秒針、分針、時針が早く回り出して、"0" の位置に戻ります。針が早く回っている間はボタン操作はできませんのでご注意ください。

ストップウオッチ機能を終了するときは、リセット状態で Ⓑ ボタンを押してください。

■ ストップウオッチ用針位置の修正
リセット状態でストップウオッチ用 1/20 秒針や秒針が "0" の位置に戻らないときは、以下の操作をしてください。



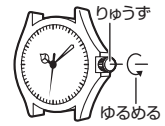
1. りゅうずを 2 段引きます。

2. Ⓐ ボタンを押して、ストップウオッチ用秒針を "0" の位置に合わせます。
- 押し続けると早送りします。

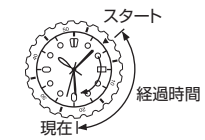
3. Ⓑ ボタンを押して、ストップウオッチ用 1/20 秒針を 12 時位置 "0" の位置に合わせます。
- 押し続けると早送りします。

4. りゅうずを押し込みます。
- りゅうずを引いている間は、通常時刻の針も止まりますので時刻を合わせ直してください。

●りゅうずについて
防水時計の一部（特に 10 気圧・20 気圧防水）でりゅうずがネジ込み式になっているものは、時刻・カレンダーを合わせる際は左回しにしてネジ込みをゆるめた後、りゅうずを引いてください（無理に引っ張らないでください）。
なお、りゅうずをゆるめた状態では防水機能を保てませんので、時刻合わせなどが終わったら必ずネジ込みをしてください。



●回転ベゼルのついているものは
回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。



製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
表示方式	針式アナログ表示
駆動方式	ステップモーター方式
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子 ワンチップ CMOS-LSI
精度	平均月差± 20 秒以内
ストップウオッチ機能	計測範囲＝ 11 時間 59 分 59 秒 95（12 時間計） 計測単位＝ 1/20 秒 計測機能＝通常計測、積算計測
使用電池	SR927W　1 個（電池別途販売）
電池寿命	約 2 年

ご使用上の注意

■ 防水性
●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

●時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
●防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸･シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
●防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
●時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
●時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド
●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度
●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ ショック
●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気
●アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気
●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■ 薬品類
●シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について
●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
●樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて
●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について
●金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
●バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて
●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌･防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

電池交換について

●電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。

■ 最初の電池
●お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
●お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗
●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた
●ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
●皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
●バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
●時計も衣服同様､直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ､汗･水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると
〈さび（錆）〉
●時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
- 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉
●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

カシオ計算機株式会社
〒 151-8543　東京都渋谷区本町 1-6-2

Printed in China
MA1206-B